

# 平成22年3月期第3四半期（連結）の概況

## 経営成績

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、国内外における景気対策の発動や在庫調整の進展、海外経済の改善を背景に、持ち直しに転じました。また、海外においても同様に、中国で景気は回復した他、米国や欧州においても夏場以降持ち直しに転じました。

しかしながら、世界経済全体としては、前年同期の水準と比べると、落ち込んでおり、景気の低迷が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鉄鋼関連事業の鋼材やアルミ・銅関連事業を中心に、第2四半期以降、販売数量は回復傾向にあるものの、当第3四半期累計期間の数量は、総じて堅調な需要に恵まれた前年同期の水準には届きませんでした。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ5,090億円減収の1兆2,063億円となり、営業利益は、平成20年末に立ち上げた収益改善委員会を中核とした総コストの改善活動に注力したものの、前年同期に比べ1,379億円減益の34億円となりました。また経常損益は、前年同期に比べ1,284億円減益の239億円、四半期純損益は、同じく799億円減益の379億円の、それぞれ損失となりました。



売上高



1,206,336 百万円

営業利益



3,421 百万円

経常利益



△23,967 百万円

四半期純利益



△37,913 百万円

※矢印は前年同期比

※記載の数値は第3四半期までの累計

## 事業別売上高情報

事業（セグメント）別の状況は以下のとおりです。

詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」サイト掲載の平成22年3月期第3四半期決算短信をご覧ください。

鉄鋼関連事業



521,398 百万円

建設機械関連事業



191,847 百万円

電力卸供給事業



61,558 百万円

不動産関連事業



37,026 百万円

アルミ・銅関連事業



188,196 百万円

電子材料・その他の事業



29,420 百万円

機械関連事業



208,847 百万円

その他

△31,958 百万円

「その他」はセグメント間の内部売上高等の消去額です。

※矢印は前年同期比

※記載の数値は第3四半期までの累計